

あおい通信 第166号

新日本三景「大沼」

新日本三景めぐり



大沼(七飯町)は、北海道亀田郡七飯町にある湖。大沼、小沼、蕁菜(じゅんさい)沼などの大小の湖沼群や北海道駒ヶ岳などの周辺の総称として「大沼」とも呼ばれている。大沼という地名はアイヌ語の「ポロ・ト」に由来している。ポロは「大いなる」を意味し、トは「湖沼」や「水溜まり」を意味している。そこで、「大沼」または「大沼」ということになって「大沼」が採られた。

「大沼国定公園」に指定されており、湖内には「流山(ながれやま)」と呼ばれる大小120あまりの溶岩塊や丘の上部からなる小島が浮かび、特異な景観になっている。大沼と小沼はセバット(狭戸)と呼ばれる地峡部でつながっている。小沼の水は沼の南西端にある取水口より排水されて水力発電と灌漑に利用している。新井満訳詞・作曲の「千の風になつて」誕生の地として湖畔にはモニュメントが設置されている。



日暮山から見た大沼小沼

となつた。この時、崩落泥流が裾野の河川を堰き止めて大きな湖水を形成した。その後、数度の噴火活動によって湖水が分断されて大沼、小沼、蕁菜(じゅんさい)沼などを形成したが、一説によると1640年(寛永17年)の大噴火によって流出した溶岩で河川が堰き止められてきたとしている。大沼は堰止湖であるが、小沼と蕁菜沼は陥没湖である。

東西南北

人間面(ずら)した悪魔 幼児虐待はなぜ止まないのか。

今年も早々に、千葉県野田市の小学4年、栗原美愛さん(10)の虐待事件がおきた。市教委は威圧的な父親に屈服し、美愛さんが虐待を訴えたアンケートのコピーを渡していた。「お父さんのほう力を受けています。夜中に起こされたり起きていられるときにけられたりたかれました。先生、どうにかできませんか」とこのように訴えに胸が苦しくなる。この文字を父親が知るところとなった。以降、亡

くなるまで想像に堪えがたい時間をすごしたのでろう。

この報道を聞いて、2016年に東京都目黒区のアパートでの児童虐待死事件を思いだす。被害者は船戸結愛(ゆあ)ちゃん(当時5歳)被告は義父の雄大(33)の指示で毎朝、自分で目覚まし時計をかけて起床から起きだし、一人ひらがなの練習をしていたという。きようよりかもつともつとあしたはできるよようにするからもうおねがいゆるしてゆるしてくださいおねがいします もうおなじことはしませんゆるして。『と夢愛ちゃんが大

章を読んだことがない。同年7歳の女児下校途中を襲いJRの路線に遺体を置き、列車にひかれて破損させた事件、逮捕された犯人は被害者の自宅とは目と鼻の先にある普通の家庭で暮らす23歳の会社員であった。近所の住民が「目立たないおとなしい子」と、口をそろえる若者だった。平穏な日々のなかにつの間にか悪魔が潜み、それがある日突然おもてに飛び出す。子供がかわいそうなることになった事件、何度繰り返されることだろう。人間面(ずら)した悪魔達を誰が退治できるのだろうか? ヨツチャン

談話室

競泳・池江選手 白血病公表

昨年のアジア大会で最多の6個の金メダルを獲得し最優秀選手に選ばれた池江璃花子選手が12日、自らのツイッターで白血病と診断されたと公表した。その後会見した日本水泳連盟によると、東京都内の病院に入院中で、復帰の時期は未定。病状の詳細や治療法については明さなかった。東京・淑徳巣鴨高3年の池江選手は1月18日から豪州での強化合宿に参加していたが、体調不良をたびたび訴え、現地の病院で検査を受け合宿を切り上げて8日に帰国して入院。再検査した結果

活動によって湖水が分断されて大沼、小沼、蕁菜(じゅんさい)沼などを形成したが、一説によると1640年(寛永17年)の大噴火によって流出した溶岩で河川が堰き止められてきたとしている。大沼は堰止湖であるが、小沼と蕁菜沼は陥没湖である。

観光

南大沼地区が観光の中心となっており、「大沼湖水まつり」などの各種イベント会場になる。大沼公園駅の隣には観光拠点となる七飯町大沼国際交流プラザがある。白鳥台セバットは渡り鳥の越

葵友の会 広報コーナー

- 2月の反省 15日(金)カラオケ「バンバン」にて。6名の参加。
- 3月の予定 15日(金)カラオケ 13(水)友の会総会を「木曾路(谷原店)」にて開催します。多数の皆様に参加をお待ちしています。よろしくお願いたします。(事務局)

◆編集委員会より 「あおい通信」は皆様からの原稿を募集しています。係員・飯島

利用者さんの 綴り「一」

加藤 重信(金)

囲碁が趣味で二〇歳の時からやっています。囲碁を打ちに出かけたいのですが、体調的に行けない状態です。前は大泉にあったのですが、今は保谷にあります。



佐藤 美佐子(火)

カラオケサークルやラダンスなど趣味でやっています。葵の運動の成果だと思っておりますが、むくみが減りました。



認知症

165号のつづき

高齢者看護に 関する施策

★90年代後半には、少人数で生活し、なじみの職員から介護を受けた方が生活の質が高くなるとして、定員9人のグループホームが導入された。

★00年には介護保険制度が創設された。40歳以上から保険料を集めて財源を増やしたことで、施設サービスともに

スイミングスクール

麻生伊登

大泉駅前近くにプールがありまして。地元の米店が店をつぶしてプールにしたのです。ご主人は水泳の先生でした。近くの幼稚園と相談の結果20mの4コースが出来、早速園の子供達の遊び場のようになりました。その頃我が家の孫が二人お世話になっていましたから、楽しんで参加、送り迎えは私の役となり二階で様子を見て何ヶ月かが過ぎ、孫達も元気でした。

なり、その頃先生から声がかかり、いっしょに遊びながらの日が過ぎて行きました。

田舎の川遊びのみの私にはどうにも出来ず、孫達はどんく上手になったようです。その後先生から本格的に練習しましう、仲間も出来すからとなり第一回に行つて驚きました。友達は立派な水着を持参、私と云えば二十年も前の水着です、恥ずかしさでいっぱいでした。水着のファッションショーなのです。それでも歩く事から始まりクロールのまねごとのよう

な事が出来たのが一ヶ月位してからです。楽しくなり孫達との話題がプール話だけとなりました。その後小学校にもプールが出来、孫達は本格的に練習があり、私は次の出産と共に一時休む事になりました。

このプールで出来た事は背泳ぎ、クロール、平泳ぎ、とにかく四種目をマスターし、五、六年はお世話になりその後そのプールは閉ざとなり、三原台に大きな施設が出来、孫達と自転車を通うようになり十年は泳ぎました。何でも夢中になる私です。楽しかった十年、恥ずかしかった十年でしたが立派な体作りだったと思います。

想い出を振り返って

関修



平成二十八年四月より通所して現在に至つて居ります。未経験の社会です。戸惑いでしたが、スタッフの方々のあたたかさ、利用者の皆様の親切にほだされて、現在は楽しく過ごして居ります。現役時代は朝七時に車で出勤し夕方八時頃帰宅、車社会の生活を主として居りました。途中人生初の体験で、予期なく入院生活を四十日ばかり致しました。結果足腰が衰える事となり歩行が思う様にゆかなくなりまして。今は自転車、マット体操に専念し一日も早く元気になりたいと思つて居ります。

「獣食した報い」

久しぶりに、「江戸言葉ひとくちメモ」です。

「獣食した報い」

獣肉を食べることを戒めたことわざで、禁じられたことをやぶつて良い思いをした後は、必ず苦痛を味わう、という意味。獣(し)は猪のほか鹿のししと呼ぶのに対し、前者は「かのしし」と言った。鹿は神の使いであるとの信仰があったため、これを食べると神罰を受けると信じられたことによるともいふ。「落語で、役人に酒を飲み干されたことが、まさに「獣食した報い」であったといえます。

「猪の肉(しし)にく」

古来より獣の肉を食べることは忌むべきことという風潮があった日本でも、猪の肉は「五臓に益あり」といわれて、滋養強壮効果があるとされたほか、鳥肉に似て美味なため非常によろこばれた食材であった。江戸時代後期にも獣肉禁忌の風潮は残っていたものの、猪の肉は食感が鯨に似ていることから「山鯨」の呼称で一般にも普及されて、赤い猪の肉は、薄切りにして皿に盛りつけた状態が牡丹の花のようであることから「牡丹肉」とも言われる。

雑学館

イチゴの種と云えば、表面についているゴマ状の粒を指すだろう。だが実は、あの粒は種ではなく、果実なのだ。私たちがイチゴとして食べている赤い部分は花托(かたく)と呼ばれる、めしべや花びらの土台のようなもの。他の果物は種の周りがある子房が膨らみ果実となるが、イチゴの場合は子房でなく花托が膨らむ。私たちはその膨らんだ花托をたべているのだ。



古今抄(長期利用者様の紹介)

西村 陽

(H24年9月1日から通所)



永野 美也子

(H25年4月1日から通所)



舛谷 光昭

(H25年9月11日から通所)



茂木 喜美子

(H24年1月16日から通所)



葵さんにお世話になった初めの頃、みんなで唄う歌の指揮をさせて頂いて楽しくできました。年を取ってきたら、自分のした事も忘れてしまうので皆さんに迷惑かける事が多いです。送迎の時、車の一番前に座る事が楽しみです。これからも色々お世話になります。

通い始めて5年になりました。最初は不安でしたが脳トレをやったり、体操をやったりそのうち麻雀の仲間に入ったりで楽しく過ごしています。これからも体が限り通いたいと思つていきます。どうぞよろしくお願ひします。

ケアマネさんに紹介され通い始める。続くかなと思つていたが「友の会」に入り色々な所に出掛けられるのが「いいな」と思っています。今年の第一回は一月十八日 寒川神社のバス旅行に行つてきました。関東一円を守護する相模国の一之宮です。祈願すれば、全ての災難を取り除いてくれる全国で唯一の「八方除(はっぽうよけ)」

葵に通所してから八年目になります。初めて来た際は元氣だったのですが、通わなくても大丈夫なのにと思つていましたが、友達も沢山できて、今は葵に来るのを楽しみにしています。通い続けてよかったです。